

東山魁夷 マスターピース コレクション™「白馬の森 特装版」 限定 800 部 発売

共同印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:大橋輝臣 以下:当社)は、東山魁夷 マスターピース コレクション™「白馬の森 特装版」を限定 800 部で制作、販売を開始します。本シリーズは、作品本体が浮き出して見える優美なデザイン額で、これまでにない臨場感をお楽しみいただけます。

《白馬の森》は、連作<白い馬の見える風景>のなかの一作で、魁夷屈指の名作として知られています。

本作は、富士山五合目にあるブナの原生林のスケッチをもとに、魁夷の空想による世界を描いたものです。1947 年に発表した《残照》以降、数多くの風景を描いてきた魁夷ですが、この<白馬シリーズ>は幻想的な白馬が主題です。では、この森の奥深くから精霊のように浮かび上がる白い馬は、果たして何を象徴しているのでしょうか。魁夷は「私の心の祈り」とだけ語り、答えは作品に触れる私たちそれぞれの心情に託しています。



東山芸術の魅力を存分に引き出すために開発された複製技法「彩美版®プレミアム」は、魁夷の神秘的な青の空間を輝かしく魅せる、新感覚の表現技法です。本作は 2017 年に発売し、好評のもと完売しました「白馬の森」を、装丁も新たに室内で飾りやすい大きさにして製作しました。ぜひお手元でお楽しみください。

[仕様体裁]

技 法	: 彩美版®プレミアム
限 定	: 800 部
画 寸 法	: 天地 31cm × 左右 45.6cm
額 寸 法	: 天地 43.6cm × 左右 58.2cm × 厚さ 3.5cm
額 縁	: 特注浮き出し加工木製額 (シルバーフレーム / 背面白藍色梨地)
重 量	: 約 2.8kg
許 諾	: 東山家齋藤進
証 明	: 東山家齋藤進
原 画 所 蔵	: 長野県立美術館 東山魁夷館
解 説	: 松本猛 (美術評論家、長野県立美術館 東山魁夷館元館長)
販売価格	363,000 円(税込)

<資料>東山 魁夷 (ひがしやま かいゐ 1908~1999)

1908 年横浜に生まれる。1931 年東京美術学校(現 東京藝術大学)日本画科を卒業 1933 年ドイツ・ベルリン大学へ留学し、美術史を学ぶ。1947 年 《残照》を描いて以降、風景画家として立つことを決意。1950 年《道》によって画壇および社会的に認められるようになる。1956 年 《光昏》で日本芸術院賞を受賞。1965 年 日本芸術院会員となる。1968 年皇居新宮殿の大壁画《朝明けの潮》完成。1969 年文化勲章を受章、文化功労者として顕彰される。1972 年本作《白馬の森》制作。1980 年唐招提寺障壁画を完成。1990 年長野県に東山魁夷館開館。1999 年に 90 歳で逝去、従三位勲一等瑞宝章を追贈される。

※Web サイト「美術趣味」もご覧ください

<https://bijutsu-shumi.com/>

https://www.instagram.com/kyodo_art/

※当社が独自に開発したセキュリティシールを証明書に貼付しています。スマートフォンなどでフラッシュをたいて撮影すると、当社の発行する真正な美術複製画であることを判定できます。